

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公開番号】特開2006-25873(P2006-25873A)

【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-005

【出願番号】特願2004-205106(P2004-205106)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を媒体として所定の遊技が実行されると共に遊技球を賞球として払出すように構成された本体と、その本体より払い出された遊技球及び遊技者により投入された遊技球を貯留する貯留部、前記本体より払い出された遊技球を前記貯留部へ流入させる流入口、及び前記貯留部に貯留された遊技球を前記本体側へ供給する供給口を有する上皿と、音声を出力可能な音声出力部と、を備えた遊技機において、

前記上皿の貯留部の一部を前記本体より離間して形成することによって前記貯留部と前記本体との間に空間部を形成すると共に、その空間部内に前記音声出力部を配設したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記空間部を画成する内壁面が上方に拡大するテープ状に形成されたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記音声出力部は、遊技者方向に向けて傾斜配置されたことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記音声出力部は、前記空間部内に複数配設されたことを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の遊技機。

【請求項5】

前記音声出力部は、音声の出力と共に振動を発生させるように構成されたことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の遊技機。

【請求項6】

前記音声出力部は、ピエゾスピーカを備えたことを特徴とする請求項5に記載の遊技機。

。

【請求項7】

前記空間部内に、画面表示可能な表示部が配設されたことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の遊技機。

【請求項8】

前記音声出力部の左右に壁状部材が立設されたことを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載の遊技機。